

晴れた屋外と夕方のカフェ内でテスト撮影し、4機種の画質トーンを見る

動画性能はEOS 7Dに追随する コストパフォーマンスの高いカメラ

Canon EOS 60D

EF-S18-55mm F3.5-5.6 IS



ISO200 f5.0 1/250



ISO200 f3.5 1/2000



ISO1600 f5.0 1/30

柔らかい中にも色をはっきり出した見慣れたEOSトーン。やはり高感度時は暗部にノイズが乗る。EOS 7Dとカット編集してもほとんど差が解らないほど、動画性能に関しては追随している。

いかにもニコンらしい 自然で抜けの良いトーン

Nikon D3100

AF-S DX NIKKOR 18-55mm F3.5-5.6G VR



ISO200 絞り優先 AE



ISO200 絞り優先 AE



ISO1600 f5.0 絞り優先 AE

比較的、中間のトーンが明るく出るように設定されているのかフェイストーンが良い。色が浅い気がするが、抜けているというより自然な印象。高感度で中間域にノイズが目立つ。

シャープネスがあり
バランスが良くクリアな画像

Panasonic LUMIX DMC-GH2

LUMIX G VARIO 14-45mm F3.5-F5.6 ASPH./MEGA O.I.S.H-FS014045



ISO200 f5.0 1/250



ISO200 3.5 1/2000



ISO2000 f5.0 1/60

色はちょっと濃い目の印象はあるが嫌みなほどではない。解像度が高く見えるのはエンハンスが良い感じで効いているためだろうか？ 高感度時のノイズは粒子というよりも色むらが出る印象。

シャープネスが高くクリアだが
色のチューニングが難しい

SONY α 55

DT 18-55mm F3.5-5.6SAM



ISO200 f5.0 絞り優先 AE



ISO200 f3.5 絞り優先 AE



ISO1600 f5.0 絞り優先 AE

AWBでミックス光だと外光に合わせがちでイエローに転ぶ傾向にあった。シャープネスがあり色がべったりと濃く乗ってくる印象。高感度時でもノイズは比較的目立たない。

m4/3 → C マウントアダプタを介して GH2 に 16mm 用レンズを装着



Bell & Howell Super
Comat 25mm f1.9
ISO200 絞り解放で撮影。



Wollensak17mm f2.7
ISO200 絞り解放で撮影。



m4/3マウントのGH2にCマウントのアダプターを介して、私物の16mmカメラ用のCマウントのレンズを試してみた。

最近のレンズはクリアで切れの良いレンズばかりで、なかなか味を出しにくい。それに比べるとこれらのレンズは、見切れも出るし、フレアを受けやすい、シャープネスも足りないが、その時の空気感を映し出してくれているような気がする。

やはり被写体もそれに呼応するようで、試しに撮った素材を見た笹生実久ちゃんも乗り気になり、急遽、新しい曲の映像を撮る流れに！

今回のテストで撮影した映像による笹生実久さんのMV「ココア」は、
www.youtube.com/user/247Musicjapan で視聴可能。

今回、このテスト撮影に協力してくれたのは、「邦楽史上最も耳元で聴きたい歌声を持つシンガーソングライター」笹生実久(Miku Sasao)さん。幅広い分野で活躍中のアーティストだ。

2007年『チューリップのアップリケ』リリース。

2008年 『乾いた花』『下北沢北口、銀行前にて』(アニメ挿入歌集)リリース。ストリートミュージシャンYASUKO役で声優を務める。

2009年 『オーブンドア!』リリース。USENチャート1位を獲得。

2010年～【会員制】寄り道Bar330(ササオ)と称したUSTREAM連動ライブをスタート。世界視聴率ランキング7位を記録。



限定音源第3弾「Robin」
Bar330会場にて発売中。
official HP <http://sasaomiku.jp>
twitter @sasaomiku